

大賞

特定非営利活動法人 NPOクリーンふくおかの会

地域・企業・行政を巻き込んだ同時一斉清掃 「ラブアース・クリーンアップ」で福岡を日本一美しいまちに!



福岡市内3万人、全体では70万人の人が参加する「ラブアース・クリーンアップ」

「ふくおかを日本で最も美しいまちにしよう」「子や孫に美しく豊かな自然を引き継ごう」と、平成2年3月に会を立ち上げ、同年6月に「クリーン・ザ・ビーチ」の名称で海岸清掃を実施。

その後、平成4年5月の「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に、同会議のテーマである“地球環境と地域行動”を実践するため、行政と共働し、海、川、山の同時一斉清掃を市民に呼びかけ、「ラブアース・クリーンアップ」を開催。

現在は、市内100を超える会場で、3万6千人が参加。活動は九州・山口各県や釜山広域市などにも広がり、全体の参加者は70万人を超えている。毎年6月の環境月間の事業として多くの市民に浸透しており、地域・企業・行政を巻き込んだ活動となっている。

また、「ごみは、なぜ減らないのか」、散乱原因や解決策を考えようと、海岸や川、公園などで毎年9月から10月にかけて実態調査を実施。「環境学習会」を定期的に開催し、市民の環境意識の高揚と啓発にも取り組んでいる。



涵養林に山桜を植林



活動履歴

- 平成 2年 3月 「クリーンふくおかの会」設立
- 〃 6月 「クリーン・ザ・ビーチ」の名称で市内近郊の海岸清掃を実施（6千500人が参加）
- 平成 4年 5月 行政と共働し、「ラブアース・クリーンアップ九州'92」を開催。約10万5千人が参加。（以降毎年6月に実施）
- 平成 5年 3月 ボランティアネットワークの構築に着手し、九州各県のボランティア団体と交流を開始。
- 平成 7年 9月 第1回九州ボランティアネットワーク会議（九州ネット会議）を開催。翌年2月に第2回を開催以後、事務局を引き受ける。
- 平成 8年 6月 ラブアース・クリーンアップを九州ボランティアネットワークの統一行動とする。
- 平成 9年 3月 釜山広域市のNGO（自然保護釜山広域市協議会）と交流開始。
- 平成13年11月 第1回全国ラブアース・クリーンアップ会議を開催。
- 平成14年 4月 特定非営利活動法人認可。NPOクリーンふくおかの会発足。
- 平成19年 9月 アジア太平洋会議のシンポジウムにパネラーとして参加し、「ラブアース・クリーンアップinエコアジア」を地行・百道浜で開催、各国環境担当大臣等千人が参加。
- 〃 10月 朝倉市の江川ダム涵養林に山桜の植林をはじめ。

